

更なる充実と発展の年

校長 金室 紀夫

穏やかで暖かな春を迎え、木々の芽吹きが映える希望あふれる季節となりました。前任の鹿倉校長先生の後任として、この4月に着任しました金室紀夫（かなむろのりお）と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。

本校は、今年度で開校8年目を迎える若い学校ですが、授業研究やキャリア教育、自立活動などにおいて、先進的な取組を実践しています。また、地域と連携・協力し、地域貢献活動も行うなど、とても活気と愛情に溢れたエネルギーな学校です。

今年度は、4月10日の入学式で小学部12名、中学部21名、高等部52名の仲間を迎え、小学部78名、中学部64名、高等部139名、計281名の子どもたちが共に学ぶこととなります。1学年進級した子どもたちは、新鮮な気持ちとこれからの学校生活への期待を胸に抱き、新年度を迎えていることと思います。

このたびの人事異動により、27名の教職員が退職ならびに転出し、29名が新たに着任しました。「チームはばたき」の新たなメンバーとして、児童生徒の確かな成長を願い、保護者の皆様や地域の方々と協力し、努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

さて、開校以来、子どもたちの将来を見据えたキャリア教育の視点をふまえた授業づくりや教育課程の研究を進めてきました。その結果、小学部から高等部までつながりのある指導支援やキャリア教育に関して確かな成果を収め、本校の教育実践の土台ができました。

今年度は、これまで積み重ねてきた教育実践の更なる充実を図り、発展を目指す大切な年と位置付けています。昨年度から継続して、「児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の充実を目指して」というテーマに基づき研究・実践を行い、授業力の向上、そして学校力の向上を目指してまいります。研究のための研究ではなく、児童生徒の実態に応じて主体性や社会で生きる力等を育む研究・実践を行います。

特別支援教育がスタートして10年以上が経過しました。特別支援教育は、障害の有無にかかわらず、すべての子供たちにとって必要なインクルーシブ教育へと発展してきています。共生社会への加速度的な進展の中で、本県特別支援教育の中核を担う本校が皆様の期待に応える教育力を発揮できるよう、教職員一同あらためて専門性と指導力の向上に努めてまいります。保護者や地域の皆様方とともに歩む特別支援学校として更なる充実・発展を目指してまいりますので、よろしく願いいたします。